

FlipFlop+FlipFour

by Masahiro Nakajima

Nestorgames 版 FlipFlop¹ は、2つのゲーム:
FlipFlop (3x3, 5x5) と FlipFour が遊べます。

FlipFlop ファミリーの最大の特徴は、動くたびに駒の働きが変わることです。そのため、小さなボード、少ない駒数で遊ぶゲームでも、いやいやそんなに単純ではありません。

さあ、あなたも、作者が狙った「小さくとも、美しく複雑な世界」をぜひ楽しんでみてください!

FlipFlop

INTRODUCTION

FlipFlop は、中島雅弘が 2009 年に考案した、2人で対戦するアブストラクト・ゲーム(完全情報ゲーム)です。世界中の誰でもが、年齢や文化的背景の違いを超えて楽しむことができるシンプルさ、3x3, 5x5 という小さな盤上で、遊べば遊ぶほど面白くなる、奥深い戦略性の 2つの実現を目指して作りました。

少年サンデーの Web 版無料マンガサイト、サンデーうぇぶりで大人気連載中「チェックめいと! ~魔王さん、手番ですよ! ~」(猫砂一平)の第 7 話(2016/8/26)に FlipFlop が掲載されました!²

Nestorgames 版の FlipFlop は 1つのボードで、サンデーうぇぶりに掲載された 3x3 ゲームと、5x5 ゲームの両方を遊ぶことができます。

1 オリジナルのウェブサイトはこちら:

<http://www.nakajim.net/index.php?FlipFlop%20%28English%29>

オンライン版も遊べます:

<http://www.nakajim.net/index.php?Abstract%20Strategy%20Games%20Online%204>

<http://www.nakajim.net/index.php?Abstract%20Strategy%20Games%20Online>

2 <https://www.sunday-webry.com/comics/checkmate/ep007/> (scroll leftward to "turn the pages"; (FlipFlop は 4 - 8 ページに掲載されています。))

MATERIALS

Boards

Fig.1 の 3x3 と 5x5 の 2種類のボードを使って、2種類のゲームをプレイします。ボードの両ベースライン中央のそれぞれ、3x3 ゲームでは△○□, 5x5 ゲームでは FlipFlop と書かれたマスが、ゴールです。

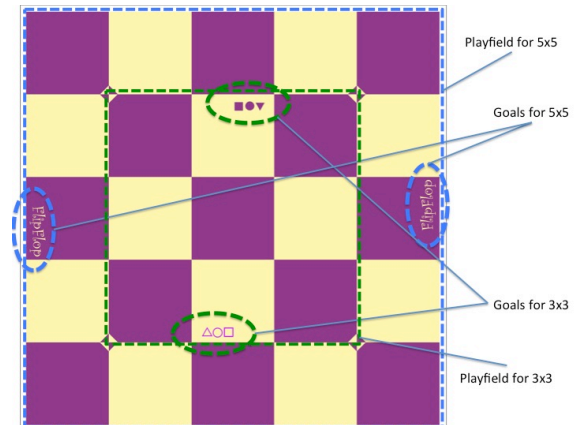


Fig 1: Boards: 3x3 and 5x5

Pieces

駒は、表裏両面を使います。+面が将棋の飛車の働き、Xの面が角の働きです。(Fig. 2)

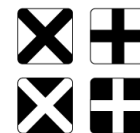


Fig 2: Pieces

SETUP

自分の色(白か黒)を決め、それぞれの駒を、3x3 で遊ぶときは 3 個ずつ、5x5 では 5 個ずつを持ちます。

3x3 ゲームでは“△○□”のゴールが、5x5 ゲームでは“FlipFlop”のゴールが、それぞれプレイヤーの正面にできるようにボードを回転させて使ってください。

3x3 ゲームでは Fig.3, 5x5 ゲームでは Fig.4 のようにベースライン上に、+ を表に配置します。

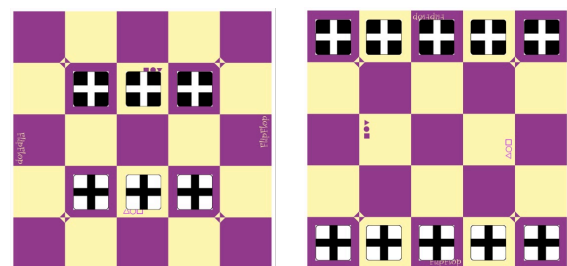


Fig 3: 3x3 Setup

Fig 4: 5x5 Setup

RULES

Goal

敵陣ベースライン中央の自分のゴールに駒を進め、次の相手のターンでその駒を捕獲されなければ勝ちです。また、自分が動いた後、相手に動かせる駒がなければ勝ちになります。

3 回同じ局面が現れたら引き分けです。

Play

白が先手です。プレイヤーは次のルールに従って、交代でボード上の自分の駒を動かします。

- 1) + (将棋の飛車と同じ動き)は縦横に、X (将棋の角行と同じ動き)は斜めにそれぞれ 任意の距離だけ移動できます。いずれも駒に書かれている矢印の向きに動きます。
- 2) 駒を飛び越えることはできません。
- 3) それぞれの手番で、駒を移動したら駒を Flip します。つまり、+ の面で移動したら、X を上にして手番を終了します。
- 4) 敵陣または自分のゴールのマスにいる敵の駒以外捕獲することはできません。※ゴール以外のマスに他の駒がある場合は、(その駒をジャンプも捕獲もできないため)その手前のマスで停止しなければいけません。
- 5) パスはできません。

FlipFour

INTRODUCTION

FlipFour は、アブストラクトゲーム博物館 館長の中島雅弘が、FlipFlop の遊具を使って 2016 年に考案した、2 人で対戦するアブストラクト・ゲーム(完全情報ゲーム)です。

各プレイヤーの持ち駒 4 駒 (=ルールが成立する最少の(!) 駒数)のみで、面白いゲームを実現した、画期的な四目並べです。

MATERIALS

駒[白]と駒[黒](Fig.1)を各 4 個ずつ、FlipFlop ボード 5x5 (Fig.2)を使います。

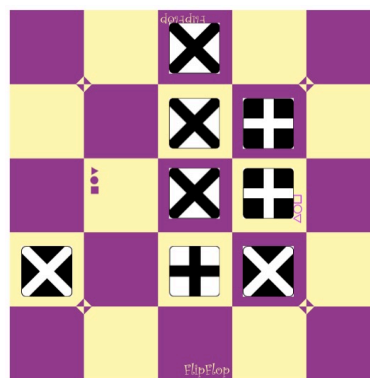
RULES

Initial Setup

はじめにそれぞれのプレイヤーは、自分の色(白, 黒)を決めます。ボードには駒を 1 つも置かずにスタートします。それぞれのプレイヤーは、自分の色の駒を 4 個手元に置いて開始します。白のプレイヤーが先手です。

Goal

自分の色の駒(白, 黒)が、縦横斜めのいずれかで 4 個直列したら勝ちです。+と X は、どちらでも構いません。(下図は、白の勝ち)



How to Play

各プレイヤー手番で、手持ちの駒を 1 つボード上の任意のマス内に配置するか、下記のルールに従って自分の駒を移動することができます。

- 1) 駒は、空いているマスにのみ配置できます。+でも X でもどちらでもかまいません。
- 2) 駒を移動させる場合は、+(将棋の飛車と同じ動き)は縦横に、X (将棋の角行と同じ動き)は斜めに、それぞれ任意の距離移動できます。すでに駒があるマスには移動できません。
- 3) 相手の駒も、自分の駒も、いくつでも駒を飛び越えられます。
- 4) それぞれの手番で、駒を移動したら駒を必ず Flip(裏返し)します。つまり、+の面で移動したら X を上に、X の面で移動したら+を上にして手番を終了します。
- 5) 自分のすべての駒をボード上に配置する前でも、ボード上の自駒を動かすことができます。
- 6) パスはできません。